

地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会（第24期・第5回）議事録

日時：平成31年4月5日（金） 10:30-12:00

会場：日本学術会議 5A(1)(2) 会議室

出席者：春山成子，石川義孝，高橋桂子，伊藤香織，伊藤悟，植松光夫，小口高，奥村晃史，小嶋智，近藤昭彦，齋藤文紀，佐竹健治，杉田文，鈴木康弘，寶馨，張勁，佃栄吉，橋口公一，氷見山幸夫，平田直，村山祐司，森田喬，山形俊男，山田育穂

スカイプ参加：矢野桂司

欠席者：石川徹，碓井照子，沖大幹，川幡穂高，篠田雅人，谷口真人，津田敏隆，中田節也，村山泰啓，安成哲三，山岡耕春，山川充夫

参考人：西川智，オブザーヴァー：廣井悠

配布資料

資料1 4月5日シンポジウムポスター

資料2 講演資料：地震現象の合理的予測法について

資料3 シンポジウム資料：斜面災害と土地利用

資料4 講演資料：ジオパークの動向について

資料5 大型研究計画について

資料6 12月21日シンポジウム概要

議題

1. 講演1 橋口先生「地震現象の合理的予測法について」
2. 講演2 佃先生「ジオパークの動向について」
3. 日本学術会議公開シンポジウム「繰り返される災害-少子高齢化の進む地域で生き抜くということ-」について
4. 2019年12月開催予定の公開シンポジウム「地球環境変動と人間活動-世界各地で急速に深刻化する地球温暖化の影響と対策-」について
5. 大型研究の申請について（土地利用関係）
6. 24期の提言もしくは報告について
7. その他

会議に先立ち以下の点が説明された。

- 午後のシンポジウムで講演する西川智参考人の挨拶
- 分科会委員長より分科会開催予算（旅費ならびに会員・連携会員手当の削減）について。
- すでに前回議事録が承認済みであり，日本学術会議事務局に提出されていること。

議題 1

講演タイトル「乾性摩擦から流体摩擦に亘って静止摩擦から動摩擦への移行を示す一般摩擦現象を統一的に表現し得る下負荷摩擦モデルの活用による決定論的地震予知法の確立を念じて」の講演の後，活発な意見交換があった。

議題 2

講演タイトル「日本のジオパーク活動を振り返って」の講演後，意見交換があった。

議題 3

本日の公開シンポジウムの進め方を確認し，趣旨説明では日本学術会議で過去に発出された「少子高齢化」，「防災」関連の提言を踏まえ，24期の地球人間圏分科会提言作成の提案を踏まえるとの意見があり合意した。総合討論は質問票をもとにしたパネルディスカッションとすることを合意した。受付，PC係，質問票回収などの役割分担を確認した。

議題 4

予算状況は厳しいが，6月幹事会での承認を経ることを前提とし，「地球環境変動と人間活動-世界各地で急速に深刻化する地球温暖化の影響と対策-」の開催について議論し，当初予定の通り2019年12月21日に開催することを確認した。

議題 5

資料5に基づき，大型研究計画「アジアにおける陸域システムと土地利用の持続可能性向上に向けた総合的研究」について，フューチャー・アース計画の一翼を担うものであること，環境学（持続可能性科学）を主学術研究領域，地球惑星科学（地球人間圏科学）を副学術研究領域としており，当分科会と関わりが深いことなどが紹介された。

議題 6

24 期の提言ないし報告の発出は分科会委員間でメールによる議論を経て案を決定する。予算が逼迫しているとはいえ、分科会開催を見送るのは学術会議の機能低下となると危惧する意見があり、提言案の取りまとめのための分科会開催について議論をした。

議題 7

特になし。